



TITLE:

同盟罷業の頻發

AUTHOR(S):

戸田, 海市

CITATION:

戸田, 海市. 同盟罷業の頻發. 經濟論叢 1919, 9(3): 409-426

ISSUE DATE:

1919-09-01

URL:

<https://doi.org/10.14989/127570>

RIGHT:

京都帝國大學經濟學會 經濟論叢

第九卷 第三號

大正八年九月一日發行

論說

農家者流の經濟思想……………

法學士
文學士

小島 祐馬

住居税の利害と高級住居税の提案……………

法學博士

神戸 正雄

經濟的行爲と道德的行爲との關係(一)……………

法學博士

田島 錦治

社會政策上より觀たる吾國の財政(二)……………

法學博士

小川 郷太郎

時事問題

同盟罷業の頻發……………

法學博士

戸田 海市

朝鮮統治の根本問題……………

法學博士

山本 美越乃

銀行の手形引受制度(二)……………

法學士

大森 研造

雜錄

米價の高低と一般物價の高低……………

法學博士

河田 嗣郎

社會問題評論(二)……………

法學博士

神戸 正雄

和田垣、内田兩博士の永眠を悼む……………

法學博士

神戸 正雄

京都帝國大學經濟學部規程●經濟學部大正九年度授業擔當

時事問題

同盟罷業の頻發

戸田 海市

一 同盟罷業の現状

昨年の今頃は關西を中心として米騒動が全國を風靡したか、本年は同盟罷業が東京に源を發して全國に波及しつゝある。元來同盟罷業は今日の文明國に於て好景氣の當然の附隨現象と認められて居るか、目下の我が同盟罷業も亦第一に之を好景氣の附隨現象と見ることも出来る。好景氣の際には常に物價騰貴の傾向を示すものであるが、諸物價の騰貴に比して勞銀の騰貴は後れ勝ちであるから勞働者は實質勞銀の減少を防ぐ爲めに同盟罷業を起すこととなる。我國には未だ勞働者の重要部分が完全なる勞働組合を組織するに至らぬ爲め、歐米先進國の如く精確なる勞銀統計を作ることか出来ず、單に表面的なる勞銀の呼び値を調査し得るに止まり、勞働日數及時間數と呼び値の勞銀以外の特別手當や時間外勤務に對する増歩等に由り、勞働者が實際に得る所の勞銀

の大きさを知ることか出来ない。只た今日の普通の勞銀統計に由れば其騰貴の程度は物價騰貴に比して遙かに低く、又勞働者の生計上最も重要な地位を占むる米、綿布、砂糖の如き日用品の最近に於ける騰貴の甚た大なるを見るときは、今回の同盟罷業が實質勞銀の減少を防ぐ爲めに起つたものと認めざるを得ない。更に好景氣の際に同盟罷業の起り易きは此の如き際に最も成功し易き爲めである。我經濟界は休戦後一時沈衰に傾かんとして再び活氣を示し、今日は戦争中の最盛時と多く異らざる好景氣を呈し、之か爲め都鄙を通して勞働の不足を訴へ、失業の嘆聲を聴くことか極めて稀れてあるから、同盟罷業を起すには好時期である。此點に付て注意すべきは昨年來の米及生糸の騰貴の爲め田舎か非常の好景氣となつて勞働の需用か特に強まり、従つて其勞銀の騰貴も都會に比して一層急激であるが、此事たるや實に都會勞働者か鞏固の結束を有せざるに係はらず能く同盟罷業を起して多く成功する一原因である。若し今日米價か低くして田舎か不景氣であるならば生活程度の低き勞働者か田舎より續々都會に流れ込み、之か爲め都會勞働者の同盟罷業の成功か甚た困難となる。米價の高きことは今日の同盟罷業を必要ならしむる一原因であると同時に、其罷業をして多く成功せしむるの原因ともなつて居る。今日の如く米價か一般物價騰貴以上に三四割の暴騰を爲すことの國民經濟上有害なるは明かであるが、併し一方に之か爲め田舎の下層民の地位か急速に向上し、其結果都會勞働者に對する勞働市場の壓迫を減したるのみなら

す田舎の好景氣にして其購買力の増進したとか、休戦後沈衰に傾かんとした商工業の景氣を維持する重大原因となつて居ると云ふ事實は觀過するを得ない。

今回の同盟罷業か此の如く好景氣に刺戟せられて起つたことは明かであるが、併し労働問題に關する世界思潮の我國に波及したとか之と同等又はより以上の有力なる原因を爲すことは何人も疑を挾まぬ所である。特に講和會議に由り労働問題を重要な國際問題とすることに決定して、一般に妥當と認むる所の労働者待遇條件を世界に宣言したるに止まらず、第一回の國際労働會議開催の時期も切迫し、之か爲め朝野共に此際至急に労働者待遇を改善するの必要か承認せらるゝに至つた。其結果我が労働者の間に鞏固なる結束の存在せざるに係はらず、又同盟罷業に由て要求せらるゝ勞銀の増加か多くの場合に三四割の大に達し五割以上の要求も少なからざるに係はらず、罷業の多數は迅速に労働者に有利なる解決を齎らしつゝある。其の未解決の儘に紛擾を繼續し又は労働者側の失敗に歸せる場合の多くは、實際に事實の收益少なくて到底労働者の要求を負擔し得ざる場合であるやうである。而して同盟罷業に由り労働者の要求する所は此の如く頗ふる程度の大なるに反し、労働者の罷業を行ふの態度は沈着にして不規律の行動を見ざるのみならず、今回の罷業には往々労働時間と云ふ新なる要求か加はつて居る。一面に雇主側も同盟罷業に對して一般に妥協的の態度を採りつゝあるが此間に於て特に注目すべきは東京新聞紙の印刷職工

の同盟罷業に對する新聞社の態度である。

此同盟罷業に於て多くの新聞社は労働者の要求を或程度まで正當として之を承認するも、諸新聞に従事する印刷職工が團體的に行動することを否認し、各個の労働者と個別的に交渉することを主張した。新聞社の此態度は即ち労働組合を否認するものであつて、彼の内務當局者の横斷的組合反對と同一の方向を採るものではあるまいか。若し東京新聞社の團體的交渉の拒絶が主義として労働組合を否認するものでなく、單に今回の團結と稱するものが眞正の結束でなく、少數の誘惑者煽動者の運動に多數者が雷同附和したものと見做して之と交渉することを拒絶したものとすれば、是亦労働者を幼稚視して治安警察法第十七條の誘惑煽動所罰の規定の存續を主張する内務當局者の意見を是認するものではあるまいか。或は新聞紙は公益的性質を帶ふる重大事業であるから、其全部の休刊を必要とするか如き同盟罷業を起すことは、水道や鐵道や郵便電信等の公益的事業に於ける同盟罷業と同じく不都合のものであると認めたものとすれば、是れ横斷的組合を否認するの理由とはならず、單に同盟罷業を否認するのみである。新聞紙發刊が公益的事業なるが故に之に付て同盟罷業を認むへからすとの主張の當否に付ても議論の餘地があるであらうか假りに此主張を正當なりとすれば、一方に新聞社が印刷職工の要求を拒絶すると同時に之に一般的解雇を通告し、即ち工場閉鎖と見るべき手段を採つて自から發行を休止したと云ふ報道に接す

ることは意外である。新聞紙の發行が公益に重大關係を有するか故に輕々に之を休刊すへからざるものと認めるならば、須らく進んで諸新聞社の職工を團結せしめ、之と協議して公明なる仲裁制度を立て、以て今後の勞働紛擾の解決に對し賢明なる自治の先例を示すことを適當としなかつたであらうか。一般の同盟罷業に於て雇主は勞働者の代表者と交渉を進め、即ち其團結運動を公然否認するの態度を採らなかつたに反し、社會の木鐸たる新聞社が團結運動を否認するか如く見ゆる態度を採つたことは注目すべき事柄である。此罷業事件の真相に通せざる予輩は之に對して確定的判斷を爲すことを得ないが、從來我國の新聞紙は社會問題に對し概ね進歩的意見を掲げて社會を指導しつゝあつたから、此罷業事件に付ては新聞紙自から辯明を公けにして世人の疑惑を解くことゝなるであらう。勞働組合を認むるの必要に付ては最早や識者の一致する所であるが、世人は往々之を認むるか爲めには先づ勞働組合に法人の資格を簡便に附與する所の特別の法律を制定することを急務なりと信するやうである。併し是は實際の必要を誤解した議論であつて、今日最も必要とする所は法律の制定よりも、雇主か其雇用する勞働者の團結運動に参加することを承認するに在る。假令勞働組合が法人資格を有することゝなつても、雇主か勞働條件の決定に付き組合と直接に交渉することを拒んで個々の勞働者と交渉することを主張し、若くは自己の雇用する勞働者にして組合に加入せんとすれば解雇を以て之を脅かすか如き態度を採るならば、到底

組合運動は發達するを得ない

目下の同盟罷業にして未解決の儘に紛擾を續けつゝある場合を見るに、既に述へし如く多くは其事業か一般の好景氣に浴せず、従つて其企業者か世間並みの待遇を労働者に與ふことの實際に困難なる場合である。此種の事業に従事する労働者か好景氣なる他の諸事業の労働者と全然同一の待遇を要求することは必しも穩當と云はれないが、併し企業者が世間並みの好景氣に浴せざるを理由として全然労働者待遇を改めすと主張し、即ち其労働者か物價騰貴の爲め著しく實質勞銀を低下して生活難に陥るを顧みすと主張することは甚だ不當である。今日の勞銀制度の存在理由の一は企業者か其事業經營上の危險の大部分を負擔して、共同生産者たる労働者より危險の負擔を除くことに存する。即ち企業者は其事業が特に不景氣の際に相當の不利を蒙り労働者には生計を立つるに差支なき所得を與ふことを保障すると同時に、其事業か特に好景氣の際には特別の利益を得て不景氣の際の損失を補償し、以て労働者の生活を安定するの責任を實行することである。若しも或事業に於ては其企業者か好景氣の際には労働者に特別の利益を分たす、而も不景氣の際には其損失を労働者にも平等に分擔せしむるの方針を採ることゝしたならば、遂に此の如き事業に對して何人も労働者となるを欲せざることゝなつては其事業を滅亡せざるを得ない。企業家にして苟くも其事業を繼續せんとするには此の如き自殺的行動を採つてはならぬ。一般の

好景氣に浴せざる事業と雖も資本を貸入るゝには世間並みの利息を拂ひ、原料を買入るゝにも市場相場を拂ふて怪まざるに係はらず、獨り労働者に對しては世間並みの勞銀を拂ふの必要なしと信するか如きは、後に論するか如く労働者を以て労働なる生産要素を供給する實業家と認めず、資本や原料を供給する一般實業家と之を同視せざるか爲めてある。

二 一般商取引と同盟罷業との比較

労働を商品視すへからすと云へる講和條約の宣言に付ては種々の解釋もあるであらうが、實際今日の社會に於て労働は商品の如く賣買せられて居つて、而も其取引に商品的原則が徹底的に實行せられない爲めに弊害を生ずる場合が少なくない。政治運動の一方法としての同盟罷業は別とし、今日行はるゝ所の一般の同盟罷業は、労働者か其労働を販賣するに方り商品取引に通有の掛引手段を實行するものに外ならぬ。生産者や商人は高價にあらされは其商品を供給せすと主張して需用者を壓迫し、資本家は高利を拂ふにあらされは資本を貸渡さすと主張して借手を壓迫することか取引の常である。特に戦争の爲め經濟界か變調を呈して以來、生産者商人は買煽り賣惜みに由り極度に價格を引上げて防衛力乏しき消費者を苦しめつゝあるが、之に比すれば弱き労働者より強き雇主に對する同盟罷業の壓迫は概ね寛大なものであつて、一般商取引の慣習より見れば

何等怪むべきものかない。只た普通の商取引に於ては同盟罷業の場合の如く同業者が團結して掛引を行ふことは比較的に稀れてあるが、併し是は單に外觀上の差別に過ぎない。大企業者は一手に大量の供給を左右する力を有し、恰も一人にて同盟と等しき地位に立つのみならず、公然合同を組織して供給上に獨占力を振ふ場合もある。又小企業者も販賣組合農業倉庫等を組織して供給上有利の地位を占めんとし、國家も産業組合法農業倉庫法等を設けて此の如き小企業者の團結運動に對し特別の援助を與へつゝある。各自に小量の労働を市場に供給して日々の生活を營む所の労働者が組織する供給組合即ち労働組合に對しても、同様に國家より特別の援助を與ふべきものなりや否やの論は暫く置き、少くとも吾人は労働者が労働供給上團結一致の行動を採ることを以て、一般商取引に行はるゝ行動と異つた不穩なものゝ如く見做すことを改めねばならぬ。

同盟罷業其物は生産を停止して自他を害する行動であるが、併し労働者の要求を容れずして同盟罷業を行ふに至らしめたる責任は労働者と雇主との何れに在りやは常に問題であつて、目下の情勢を見るに同盟罷業が概ね迅速に労働者に有利の解決を齎らしつゝあることは何を語るものであるか。若し此事にして今日の企業者が一般に大なる利益を得つゝあるから、労働者の要求を容れて其利益の幾分を之に分つゝの至當なるに係はらず、愈同盟罷業に訴へるまでは頑強に其要求に應しないことを常とするか爲めに罷業が起るものとすれば、同盟罷業の責任は寧ろ雇主に在り

と云はねはならぬ。勿論労働者の要求の過大な爲めに同盟罷業を見るに至つた場合も少なくないであらうが、此の如き同盟罷業に由て一國の生産の制限せらるゝことは一時の現象に過ぎない。之に比すれば彼の獨占的性質を有する重要事業か年中其生産を制限するの害は更に大である。又普通に原料供給者か賣惜を爲し、又は資本家か貸瀝りを爲すために一國の生産か常に制限せられつゝあることは、少數の獨占業の生産制限に比すれば更に重大である。日々の生活の必要に迫られて居る労働者は、他の生産要素供給者に比して供給を制限するの實力か最も弱く、従つて労働供給の停止に由り一國の生産を制限するの害も最も少ないと云へる。原料の賣惜みや資本の貸瀝りか直接に生産を制限することは明かであるが、享樂品の賣惜みに至つては一時市場の供給を過度に減少するも早晚之を賣放つて供給過剩を呈し、従つて消費者は其際特に低廉に之を消費するの利益を受ける。併し此價格低廉の爲めに消費者の得る利益は、決して以前賣惜しに由り價格の暴騰した際に蒙つた損害を償ふに足らない。労働者か事業の収益の負擔し得ざる過大の要求を爲して同盟罷業を起すことは、其事業の不振を來たして勞銀の下落及失業を招く自殺的の妄動であるが、此の如き妄動か労働取引に付ては一般商取引以上に頻繁に行はれると云ふことも出來ない。先づ我國の米價か不當に暴騰を續けた後に必らず其反動として暴落を續け、以て回期的に經濟生活を擾亂することは徳川幕府時代よりの宿病であつて、農民及米商の米穀取引に關する此の

自殺的妄動の弊は同盟罷業の比ではない。又戦争以來特に重要商品に付て投機取引が盛んに行はれ、不當なる買煽り賣惜しに由る價格暴騰に次て反動的の暴落を呈することは殆んど日常の現象となつて居る。故に一般實業家は労働者に比して取引市場の智識と思慮に富むを以て、其取引上に輕舉妄動少なきことを誇るを得ない。寧ろ彼等か其輕舉妄動を永く繼續するの資力を多く有するだけ取引上の弊害も多いと云ふことが出来る。無資力の労働者は自殺的の輕舉妄動に由て最も強く苦しまねはならぬから、其行動を慎重にすることが自衛上最も必要であるが、併し浮調子となれる今日の一般實業家は労働者の輕舉妄動を批難して自己の思慮の優秀を誇るの資格なきことは、茲に之を指摘せざるを得ない。社會各階級が互に反省するにあらざれば到底社會的調和を保つを得ないが、吾人は労働者よりも先づ一般實業家に對して反省を求めねはならぬ。

此の如く労働者か労働取引に際して行ふ所の同盟罷業の手段は、一般商取引に於て日常行はるる所の掛引手段と更に異なる所はない。故に吾人か労働者を以て生産要素の一種たる労働を供給する所の實業家と見做し、資本や原料を供給する所の他の實業家と之を同視するならば、労働者か一致して供給を差控へる同盟罷業を起すことに付て何等奇異の感を生しない筈である。労働を商品視すへからすとの國際的宣言を實行するに先ち、吾人は更に徹底的に労働者を他の實業家と同視し、其供給する労働の取引を他の商品取引と對等視することを必要とする點が多い。世人は同

盟罷業と云へは特に不穩の行動の如く見做して労働者を批難するの慣習に捉はれて居る。吾人は眼前に於て農民や米商か頑強の取引態度を採れるか爲め米價の暴騰に苦しめられ、紡績業や綿絲商の強硬なる爲めに綿製品の暴騰に苦しめられつゝある。此等必要品の供給者か其價格を暴騰せしむる取引手段を採つて國民の生活を脅かすことは普通の同盟罷業の比ではないが、今日まで此等必要品の取引に對して有効の取締は更に行はれて居ない。然るに労働者か國民生活上影響の遙かに小なる同盟罷業を起すときは、直ちに之か取締を叫ぶか如きは大きな矛盾である。加之今日の同盟罷業を惹起した責任は寧ろ雇主側に多い。若し雇主か労働者を對等の實業家と認め、資本や原料を供給する實業家と之を同視するならば、労働者の至當の要求に對しては直ちに之を承認し、又其要求か過大なる場合にも一概に之を拒絶せずして妥協的に交渉を進めることとなり、從つて今日の如く同盟罷業の頻發を見るに至らないであらう。雇主は一旦同盟罷業か起れば忽ち其要求に應ずるに係はらず、罷業の起るまでは傲然拒絶の態度を採るか如きは、是れ未だ労働者を下等視するの慣習を脱し得ざるか爲めてある。

同盟罷業を發生せしめた責任の所在に付き世間には一種の説か行はれて居る。曰く今日の物價騰貴は労働者の生活を壓迫して同盟罷業を起すの已むを得ざるに至らしめるものであるから、物價調節を怠つた政府か罷業發生の責任者であると。成るほど經濟界の變調を呈せる今日に於て、

政府が物價の騰貴を殆んど自然の成行きに放任せることは大なる怠慢であつて、少くとも我國の物價を今日の如く世界の平均以上に騰貴せしめてはならぬ。併し既に物價が騰貴した以上は雇主も速かに勞銀引上の要求に應せねはならぬ。今日の經濟界の一般的好景氣は物價騰貴に原因するものであるから、雇主も公平に好景氣の利益を勞働者に分たねはならぬ。彼等か之を獨占して勞働者に分配することを躊躇するから同盟罷業が起るのである。加之此説に由れば物價の騰貴なくんは同盟罷業も起らず、即ち我國の勞働者は物價騰貴以前の分配狀態を以て満足する者なりと云ふのであるが、此思想ほど今後の社會問題の解決上有害なものはない。實業界に於て此の如き思想が有力な間は、覺醒しつつある勞働者と甚しき衝突を生ずることを免れない。予輩は同盟罷業の壓迫を蒙られる實業界が政府に對して強硬に物價調節の實行を迫ることに付て更に異存はないが、併し彼等が同盟罷業の責任を全然政府に轉嫁するが如き説を主張することに同意するを得ない。

三 同盟罷業の結果

今回の同盟罷業が多くの場合に勞働者に有利なる解決を告げつゝあることは、勞働者の爲め又社會全體の健全なる發達の爲めに喜ぶべきことである。此罷業の中心的意義は國民各階級の社會

的思想を最も確實に具體的に變化せしめたることであるが、此點は更に他の場合に之を論ずることとし、茲には單に我國の生産に及ぼす影響に付て研究する。今日の如く好景氣の爲め一般企業者か多大の利益を收め、特に投機取引の爲めに巨大の不勞利得を生ずるときは、其の少なからざる部分か浪費せられ、即ち企業者の生計上の奢侈に費さるゝのみならず、不健全なる投機的の企業に費さるゝことは避け難き勢である。然るに其大なる利益の一部か勞銀の増加となつて勞働者の手に渡るときは、其生活狀態の改善の爲めに費されて其生産能力を高める結果となり、一面に資本家の浪費か或程度に節約せられる爲め、一國の資本貯蓄高は勞銀増加の程度に減少することはないが、假りに資本貯蓄高か夫れ丈け減少するとしても、勞働者の生産能力の増進は優に之を償ふことか出来る。勿論勞働者も浪費を爲すことか少なくないが、併し彼等は平素生活の必要を充たすに充分なる所得を有しない者であるから、勞銀か増加すれば先づ其主なる部分を生活の必要費に充當し、以て生産能力の維持増進を來たすこととなる。世人は目下勞働者間の奢侈を甚しく誇張するの傾があるが、現代の工業勞働生活を爲す者に取つて、或程度の娛樂は勞働の疲勞を恢復するに必要缺くへからざるものであつて、之を彼の成金資本家の不健全なる浪費と同視するを得ない。吾人は下層民の娛樂に關する思想を一變し、今後は成るべく健全なる娛樂を之に供給することに努めねばならぬが、一面に勞働か過激不愉快なるほど勞働者は刺戟の強き有害な娛樂を

求むることゝなるのである。

雇主の立場より見れば、勞銀を増加すれば夫れだけ利潤を減するか如く見へるが一方に勞銀の増加が勞働能力の増進を來たすことを考へれば、企業家の不利は必しも大でない、加之勞銀が騰貴すれば幾分か他の生産費が減少する傾を生ずる。企業家は一方に資本と原料とを得る爲めに競争し他方に勞働を得る爲めに競争しつゝあるが、勞銀が騰貴すれば資本の貸入や原料の仕入に關する競争が相當に緩和せられる。從來企業家は資本と原料とを得る爲めの競争に殆んど全力を費し、之が爲め戦争以來の資本貯蓄高が甚だ巨大なりと稱せらるゝに係はらず、利息は一般に高率を維持し、又原料は常に製品の騰貴率を超過するか如き投機的相場を示しつゝあるが、同盟罷業の爲めに勞銀が急激に騰貴すれば、資本及原料に對する如上の激烈なる競争が大に緩和せられ、従つて之に對する支出に減少を來たし、而も勞銀の騰貴に由る下層民の購買力の増加は製品の賣行きを有利ならしめる。故に企業者は勞銀騰貴に由て蒙る損失の少なからざる部分を取返すことか出來るのみならず、勞銀の騰貴と勞働者の向上とは企業家を眞面目ならしめ、少くとも其の不健全なる浪費を制せしむることゝなる。更に考ふべきは從來勞働者の抵抗力の少なき爲め、企業者は資本や原料を得る爲めの競争に多くの力を費したとは云へ、勞働を得る爲めの競争が無かつたのではなく、事業の種類に由ては此競争の爲めに非常の支出を必要とした。只た勞働者か自覺して自

から其利益を主張するに至るまでは、企業者の支出する競争費は労働者に別段の利益を與へるか如き事柄に多く費される。例へば職工の募集に巨大の費用を投し、又は労働者の一時の甘心を求むるか如き種々の誘引手段の爲めに費用を投するのであるが、労働者が覺醒するときは此等の費用の主なる部分は勞銀の増加に向けらるゝこととなる。故に勞銀の増加は必しも夫れだけ企業者の負擔を新たに増加するものではない。今回の同盟罷業は我經濟界の進歩に一新紀元を劃することとなるであらう。從來は労働者の餘りに弱き爲め企業家は其膏血を搾ることに由て易々と相當の利益を擧げ得たのであるが、労働者の抵抗力の強まれる今後に於ては、企業家が懸命に事業其物の改良に努力することか必要となり、従つて此の如き改良を行ふの能力なく、單に労働者を操縱し壓迫して生存するか如き寄生蟲的實業家は生存競争の劣敗者となつて實業界より驅逐せらるゝこととなるであらう。

四 同盟罷業後の労働者

我労働者の結束の甚た不充分なるに係はらず、今回の同盟罷業は多く労働者に有利の解決を齎らしつゝあるが、今日の儘にて労働者か一旦占め得たる地位を安全に維持し得へきやは疑問である。特に今後不景氣が來襲して失業者を生ずるに至つた場合は勿論、米價が反動的暴落を生じて

田舎の下層民が労働市場に競争するに至つた場合にも、労働者の地位は忽ち退歩するの危険がある。我國の工業は從來技術の幼稚なると資本の不足せるとの爲め労働に依頼すること多く、従つて好景氣不景氣に伴ふ所の労働需用の増減が強く、又従つて好景氣の際には労働が比較的早く騰貴するに反し、不景氣の際には又早く下落することを常としたが、戰爭中我國の資本は一般に潤澤となつたに反し、労働は大に騰貴した、故に今後は成るべく労働を省略して資本を多く利用する所の經營方法が行はれることとなる。労働者が此等の事情に對抗して其地位を維持するか爲めには、先づ今日増加し得たる労働を成るべく有効に消費して其労働能力を高めることを要する。高くなつた労働が安くなりつゝある資本と競争するには、是非とも労働の効果を大にせねばならぬ。労働能力の増進と云ふことは労働の苦痛を増加することなくして其効果を大にすることであるから、無論労働者にとつて不利を來たすものでなく、通例は雇主労働者双方を利することとなる、近來労働の引上に伴ふて労働能率が減少したと云ふ批難を聞くことか少なくない。此批難には相當の誇張があるとしても労働者は大に警戒せねばならぬ。一體労働者階級にして社會一般より尊重せられんとすれば、必らずや經濟上には勿論、政治上社會上にも共同生活に貢獻する爲めに最善の努力を爲すの覺悟なくてはならぬ。第二に労働組合を發達せしめることを必要とする。最近同盟罷業に伴ふて各地に労働組合が勃興しつゝあるが、労働者が幼稚て其行動も感情的であり、従つて冷熱の變化も激しきときは、一旦同盟罷業に成功すれば之に甘んじて組合の維持に不熱心

となり、之が爲め組合が解散の運命に陥る危険が少なくない、此事は進歩したる歐米に於ても免れ難き所であるが、我國に於ては特に労働者の注意せねばならぬ點である。労働者が幼稚にして組合の維持發達に不熱心なるときは、労働運動を指導する者は労働者を刺戟する爲め盛んに階級的憎惡心を起さしめ、又絶へず不自然なる同盟罷業を起さしむるか如き、自他に有害なる危険の手段を採つて労働者の結束を固くせんとするの弊も起り易い。

最後に我工場労働者は未だ百萬を超過すること多からざるに反し、田舎に於て彼等以下の低き生活を營める細農の數は之に幾倍するの多數を占め、従つて工場労働者の地位が改善せんとすれば、忽ちに田舎より生活程度の低き多數の労働者が流入して競争する。最初に論じた如く今回の同盟罷業の大なる成功を収めた一原因は米價及生絲の騰貴の爲め田舎が好景氣となつて其勞銀が急速に騰貴し、之が爲め田舎より多くの競争的労働者が最早や都會に流入する餘地の無くなつたことである。故に今後米價が下落して田舎が不景氣となれば、都會の労働者は忽ち其競争を受けねばならぬ。今日の如き米價の過度の騰貴は早晚反動的下落を來たして田舎の不景氣を生ずるに至ることは、過去の經驗に徴して疑を容れざる所である。此の如く田舎の不景氣に由て労働市場に激烈なる競争を生ずることを防ぐ爲めには、前に述べた如く都會労働者の労働能力を高め、特に其技能の練習に勉めて田舎より來る不熟練労働者との競争外に立ち得るに至ることを必要とするが、一面には米價の過度の騰落を防ぐ所の常平倉の制度を設け、以て今後田舎が米價暴落の

爲め激烈なる不景氣に襲はるゝことを防ぐの必要がある。世間には往々米價の暴落は消費者たる労働者に取つて常に有利なりと考へる者もあるかは大なる誤りである。其理由は獨り上に述べらるゝ如く田舎の不景氣は都會の労働市場に激烈なる労働供給の競争を生ずるのみならず、人口の過半を占むる田舎を相手とする所の商工業の重要部分も米價暴落の爲めに打撃を蒙り、従つて此種の事業に従事する労働者も勞銀の下落及失業の不利を蒙らねはならぬからである。米價の暴落は田舎の購買力の減少と同時に米の消費者たる都會の購買力を大れ丈け増加し、従つて一般商工業の景氣には變化を及ぼさぬやうに見へるが、其實米價暴落に由り急激に田舎の購買力が減少して都會の夫れが増加するも、一國の商工業が同じく急激に此變化に適應することは不能である。故に都會労働者の爲めにも今日の米價暴騰の反動として近き將來に米價暴落を生ずることは甚た有害である。工場労働者の地位を高めんとすれば必らずや同時に之と競争關係に在る家内工業労働者の地位の改善を必要とし、男子労働者を向上せしむるには必らず一面に女子労働者の地位の改善を怠るを得ざるか如く、都會労働者の地位を高めんとすれば必らずや同時に田舎の下層民の甚しき困窮に陥ることを防かねはならぬ。我國の米價を安定せしむることは國民の生活安定上の重大要件であるが、工場労働者の立場より此問題を觀察するには單に米の消費者として米價の安定を要するのみならず、労働市場に於ける競争に不利の状態を生せしめざる爲めにも其安定を必要とするのである。